



## 提案を受けられずにいた。一体何が起きたのか！

## 郵送すれば施策の提案・説明とみなす!? 一方的な経営姿勢が 現場・利用者軽視の施策を生み出している!!

### これまでの経過

- ① 2024年8月26日「首都圏本部企画総務部勤労ユニット ユニットリーダー」より「輸送サービス労組東京地本業務部長宛」にレターパックが届く。
- ② 開封したところ、下記の2点が同封されていた。  
(1) 2024年7月23日に首都圏本部より示された「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」の提案資料  
(2) 「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現(2024年10月実施)」の文書
- ③ 同封されていた2点は、これまで直接示されていたが「提案を受けることができない理由」を再三再四議論して「会社の考え方が変わらないのであれば受け取ることができない」と直接伝えていた。

会社が一方的に郵送してきたのは、この間、地本が提案を受けられずにいた施策を提案・説明したとみなす目的があったと感じざるを得ません。会社都合を押しつけ、労使での話し合いで解決を目指す姿勢のない不誠実さが<sup>にじ</sup>滲み出ています。

このように、施策を一方的に進める経営姿勢が「みどりの窓口閉鎖」や「京葉線ダイヤ改正」などの現場・利用者軽視の施策に現れています。このままでは、現場の声が反映されずに、重大な欠陥を抱えたまま施策が実施されてしまいます。

地本は、JR 東日本の企業体質と労使関係の正常化を図るために、提案を受けられなかった理由等の経過について、全てのステークホルダーへと明らかにしていきます。